

春日部市立大増中学校 第1学年 数学科 シラバス

内 容

学期・月		学習の内容	学習のねらい
1 学 期	4	オリエンテーション(1)	・数学の授業の目標、内容、評価などを知る。
		・素因数分解 正負の数(27) ・負の数の必要性 ・正の数と負の数の意味 ・正の数と負の数の四則計算	・日常の具体的な事象を通して、正の数と負の数の意味を理解する。 ・正の数と負の数の四則計算ができるようにする。
	5	文字と式(22)	
		・文字を用いることの意義 ・文字を用いた式における乗法・除法の表し方 ・一次式の加法と減法	・文字を用いて、関係や法則を式に表現することができるようとする。 ・文字を用いた式の意味をよみとくことができるようとする。 ・文字を用いた式の計算ができるようとする。
	6	方程式(16) ・方程式と解の意味 ・等式の性質 ・一次方程式を解くこと ・一次方程式の利用	・方程式について理解する。 ・一次方程式を解くことができるようとする。 ・一次方程式を用いて、具体的な問題解決ができるようとする。
		比例と反比例(19) ・比例と反比例の意味 ・座標の意味 ・比例と反比例の表、式、グラフ ・比例と反比例の見方や考え方の活用	・具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例や反比例の関係を見いだす。 ・比例と反比例の関係を表現したり、考察したりすることができるようとする。
	7	平面図形(17) ・図形の移動 ・基本的な作図	・見通しをもって、基本的な図形を作図することができるようとする。 ・平面図形について理解する。
2 学 期	9	空間図形(19) ・空間における直線や平面の位置関係 ・直線や平面の運動による空間図形の構成 ・扇形の弧の長さと面積 ・柱体錐体の表面積と体積	・観察、操作、実験などを通して、図形を考察することができるようとする。 ・空間図形について理解する。 ・扇形の弧の長さと面積を求めることができるようとする。 ・基本的な柱体錐体の表面積と体積を求めることができるようとする。
		資料の分析と活用(11) ・資料の分析 ・資料の活用 ・ことがらの起こりやすさ	・目的に応じて資料を収集し、表やグラフに整理し、代表値や散らばりに着目してその資料の傾向を読み取ることができるようとする。
	10	1年間のまとめ(8)	・1年間の学習内容の整理をする。
			- 1 -

評価

<評価の観点>

① 知識・技能

- 正の数と負の数、文字を用いた式と一元一次方程式、平面図形と空間図形、比例と反比例、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。
- 事象を数理的に捉えたり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。

② 思考・判断・表現

- 数の範囲を拡張し、数の性質や計算について考察したり、文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素や構成の仕方に着目し、図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力、数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし、その特徴を表、式、グラフなどで考察する力、データの分布に着目し、その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を身に付けている。

③ 主体的に学習に取り組む態度

- 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり、多面的に捉え考えようとしたりしている。

<評価の方法>

- 毎時間の授業への取り組み、定期テストの結果、ワーク等の提出物の状況などを基にして、総合的に評価する。

教材・テスト・学習の方

- 教科書
- 学習プリント…基礎基本の定着を図るためや個別に応じた学習のためのプリント
- ワークブック…基礎基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集

<テスト提出物>

学期	テスト予定	提出物
1学期	中間テスト…「正の数・負の数」 期末テスト…「文字と式」	その時の進度状況や学習理解度によって、範囲が変更する場合も考えられます。
2学期	中間テスト…「一次方程式」 期末テスト…「比例・反比例」	
3学期	期末テスト…「基本的な作図と平面図形」 …「空間図形と図形の計量」	

※学習進捗状況や、学習理解度によって、範囲等が変更する場合も考えられます。

<学習の進め方>

【予習】
教科書を基に、授業のポイントや流れを事前に確認しておく。
見通しをもって授業に臨む。



【授業中】
①授業の準備をしっかりとする。
(忘れ物をしない。チャイム着席する。)
②目的と意欲をもって授業に臨む。
(課題に真剣に取り組む。説明や発表をよく聞く。積極的に挙手や発言をする。分からぬところは質問する)
③創意工夫してノートにまとめる。
(要点、例題、問題、質問など整理する)



【復習】
その日に習ったことは、その日のうちに再度確認する。
理解が不十分なところは補充学習をする。